

人肉で生き残った16人の若者／アンデスの聖餐 (1975)

LA ODISEA DE LOS ANDES
THE ANDES ODYSSEY

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 ブラジル

色彩 Color

時間 99分

初公開日 1976/09/11

公開情報 ヘラルド

【キャッチコピー】

安らかな〈死〉ではなく、 凄まじい〈生存〉を選んだ！ これは恐るべき真実の記録である！

【解説】

1972年10月、ウルグアイの学生ラグビー・チームらに乗せた旅客機が南米アンデス山中に墜落。72日後に十数名の生存者が奇跡の生還を果たしたが、実は犠牲者の人肉を唯一の食糧に生き延びていた、という衝撃の実話に基づいて製作されたドキュメンタリー。キワモノになりそうな題材ながら、生存者や救援隊のインタビューを交えて真面目に構成されている所には好感が持てる。後にこのドラマは「生きてこそ」としてハリウッドで映画化されるが、それ以前にも「アンデス地獄の彷徨／航空機墜落・極限の乗客たち」(77)という興味本意の作品がある。

【クレジット】

監督 アルバロ・J・コバセビッチ Álvaro J. Covacevich

脚本 マリオ・バルガス・リョサ Mario Vargas Llosa

撮影 ヘンリー・ワイス

音楽 アンジェル・パラ Ángel Parra